



令和3年11月30日（火）
国土交通省関東地方整備局

－ 記者発表資料 －

東京湾への軽石漂流対策の訓練について

■多くの船舶が航行する東京湾に軽石が漂流することを防ぐため、国土交通省関東地方整備局は、館山港沖にて海上軽石回収の訓練を実施しました。

福徳岡ノ場の噴火に由来する軽石が東京湾に漂流した場合を想定し、多くの船舶が航行する東京湾の安定的な海上輸送を維持することを目的に、国土交通省関東地方整備局では館山港沖において船舶による海上軽石回収の訓練を実施しました。

この訓練は、国土交通省港湾局及び水産庁が開催する「漂流軽石回収技術検討ワーキンググループ」の検討結果を踏まえ、関東地方整備局が実施したものです。

今回の訓練の成果も踏まえ、引き続き、国土交通省関東地方整備局では関係機関と連携を取りつつ、軽石への対応に取り組んで参ります。

【訓練概要】

実施日時： 2021年11月29日（月）13：00頃～14：15頃

実施場所： 館山港沖（千葉県館山市）

実施者： 国土交通省関東地方整備局

（協力：（一社）日本埋立浚渫協会関東支部）

実施内容： 船舶による海上軽石回収の訓練

※詳細は別紙をご参照ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

○国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部

港湾空港企画官 清水（きよみず） （電話）045-211-7417

関東地方整備局による海上軽石回収訓練

- ◆ 福徳岡ノ場の噴火に由来する軽石が東京湾に漂流した場合を想定し、多くの船舶が航行する東京湾の安定的な海上輸送を維持することを目的に、国土交通省関東地方整備局では館山港沖において船舶による海上軽石回収の訓練を実施しました。

- 実施日時： 令和3年11月29日（月）
13:00頃出港 ～ 14:15頃帰港
- 実施場所： 館山港沖（千葉県館山市）
- 実施者： 国土交通省 関東地方整備局
協 力： （一社）日本埋立浚渫協会関東支部
（関東地方整備局との災害協定に基づく）
- 使用機械・資材：

機械名	仕様・規格	単位	数量
曳船	19t・1000PS級	隻	2
監視船	19t・700PS	隻	1
オイルフェンス	20m／スパン	スパン	5
軽石模擬材	ピンポン球 10個/袋×20袋	個	200

- 実施概要：
 - ① 曳船2隻にてオイルフェンス（延長100m）をけん引し、訓練海域に軽石模擬材を投入して回収訓練を実施。なお、訓練中は監視船を作業エリアへ配置し、周囲の船舶動向や漂流物の有無の監視。
 - ② 曳船の速度を3段階（1.5、2.5、3.0knot）に分けて訓練を実施し、2.5knot以上だと全ての軽石模擬材がオイルフェンスから抜けたが、1.5knotでは1袋だけが抜けたという結果であった。
 - ③ 今回の結果を関係機関と共有し、今後の対応につなげる予定。

- 訓練実施位置図：



※国土地理院「地理院地図」

回収訓練の様子

